

2022（令和4）年度報告

地域と連携した取組み等【本学の活動事例】

<対象>

1. 小学校・中学校
2. 高等学校、大学
3. 講座、共同事業
4. 教員免許状関係
5. その他

<活動事例>

スクールサポート、キッズ・ユニバーシティ・おやま
高大連携、大学見学、出張講義、高校主催進学ガイダンス、
高校教員対象入試説明会、大学コンソーシアムとちぎ
市民開放講座、公開講座、出前講座
免許法認定講習、教員免許状更新講習
講師派遣、部活動の取組み、ボランティア活動



白鷗大学

1. 小学校・中学校

活動	提携先	学校種	支援内容
スクールサポート 児童生徒への 学習・部活動 支援	小山市、 下野市、 古河市、 結城市、 （教育委員会） 小山市 ・2006 年度 支援開始 ・2007 年度 協定締結 下野市・古河市 ・2009 年度 協定締結 結城市 ・2015 年度 協定締結	小学校、中学校	・国語、算数、数学、理科、社会、 英語（HLT, ALT のアシスタント）の学習支援 ・基礎、基本的学習内容の個別指導 ・図工、家庭科、体育、音楽等における実技指導の補助 ・特別支援学級における生活・学習支援 ・部活動支援（陸上、バスケットボール、サッカー等） ・放課後子ども教室の学習サポート ・業間休み、休み時間における児童生徒とのふれあい等
		適応指導教室	「アルカディア」（小山市）、「スマイル教室」（下野市）、「教育支援センター」（古河市）、「フレンドゆうの木」（結城市） ・学習支援や諸活動における補助
		外国人児童生徒 適応指導教室	「かけはし」（小山市） ・外国から来日したばかりの児童生徒への日本語指導や生活適応指導

派遣学生数と支援学校数（過去4年間）

	2019（平成31・令和元）年度		2020（令和2）年度		2021（令和3）年度		2022（令和4）年度	
	派遣学生数	支援学校数	派遣学生数	支援学校数	派遣学生数	支援学校数	派遣学生数	支援学校数
栃木県小山市	178 人	27 校	—	—	90 人	21 校	96 人	27 校
栃木県下野市	43 人	11 校	—	—	16 人	12 校	14 人	11 校
茨城県古河市	8 人	4 校	—	—	8 人	6 校	8 人	5 校
茨城県結城市	20 人	7 校	—	—	3 人	3 校	10 人	5 校
計	249 人	49 校	—	—	117 人	42 校	128 人	48 校

※2020 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、4 市との連携によるスクールサポート事業は中止となった。

活動	提携先	対象	開催内容
キッズ・ ユニバーシティ・ おやま 小山市の将来を担う 子供たちの知的好奇 心を刺激し、学問への 憧れを抱く学びの機 会を提供する。	小山市（教育委員会） 第1回 2012 年 7 月 28 日(土) 第2回 2013 年 8 月 4 日(日) 第3回 2014 年 7 月 21 日(月・祝) 第4回 2015 年 10 月 12 日(月・祝) →第4回：台風18号集中豪雨に伴う 水害で中止 第5回 2016 年 7 月 18 日(月・祝) 第6回 2017 年 7 月 17 日(月・祝) 第7回 2018 年 10 月 8 日(月・祝) 第8回 2019 年 7 月 15 日(月・祝) 2020 年開催中止 第9回 2021 年 7 月 24 日(土) 第10回 2022 年 7 月 15 日(月・祝)	小山市在住 or 市内小・中 学生対象	小山工業高等専門学校、関東職業能力開発 大学校との3校連携実施。 <第1回開講講座>（31 名） ①お金って、なあに ②楽しい「心理学」入門 ③科学するところ？ <第2回開講講座>（43 名） ①ふうせんたまごを作ろう ②ダンス ③生活と税金（消費税） <第3回開講講座>（45 名） ①レクリエーション実技 ②心理学入門 ③哲学入門

		<第 5 回開講講座> (12 名) ①カウンセリング入門！ ②まちをデザインする ③ニュースポーツ <第 6 回開講講座> (28 名) ①法学入門 ～「六法全書」の中をのぞいてみよう！～ ②面白いクモの生態 ③経営学入門—会社について学ぼう— <第 7 回開講講座> (14 名) ①国際関係論入門-トランプ外交って何だ？ ②チャップブックを知っていますか？ ③「法」って何だ。 <第 8 回開講講座> (12 名) ①見えている世界と見ている世界は同じ？ ②小・中学生のキャリアデザイン ③法律を使って身近な事件を解決してみよう！ <第 9 回開講講座> (9 名) ①その契約、なかったことにできる！？ ②日本の学校の当たり前は、世界の学校の当たり前？ <第 10 回開講講座> (20 名) ①コンピュータープログラムを作ってみよう！ ②英語の音にはどんな個性があるの？
--	--	---

2. 高等学校、大学

活動	対象校	提携の形態	協定内容・実績
高大連携	白鷗大学足利 高等学校	大学＝高校	英語と教育学部の一部科目。 高校生は特別聴講生として受講 (単位取得可)
<目的> 相互に連携し、交流を深めることにより、両校における教育内容の充実と学生および生徒の資質向上を図る。	小山南高等学校 * 2012(H24)年度より (平成 26・27 年度実施無)	教育学部＝高校	小山南高校： 栃木県内唯一のスポーツ科を設置。 →専門的な学習・活動のために白鷗大学スタッフの協力体制を要望。 ・大学生による授業、部活動支援などスクールサポート事業、 ・高校による教育実習の受け入れ協力など、さまざまな交流を行う。
	小山城南高等学校 * 2013(H25)年度より	教育学部＝高校	1. 白鷗大生によるスクールサポート 2. 城南高校による白鷗大生の教育実習への協力 3. その他、双方が協議し同意した事項
大学見学	県内外の高等学校		昨年度実績(R4)：4 校
出張講義	県内外の高等学校	教員	昨年度実績(R4)：13 校 14 講義
高校主催進学ガイダンス	県内外の高等学校	教員、職員	昨年度実績(R4)：0 校 * 業者主催の会場ガイダンスを除く

高校教員対象 ／入試説明会	他県を含む高等学校	<主な参加者> 進路指導主事 3 学年担任教諭	例年近隣県、栃木県南・県北の高等学校の先生方が出席しやすい環境を整えるため、国際医療福祉大学と共催実施しているが、R2 年度はコロナウイルス感染拡大防止のため実施なし
大学コンソーシアム とちぎ ＊平成 17 年 4 月に結成	栃木県内 19 の 高等教育機関	協団体	特色のある栃木県下の高等教育機関が連携することで、大学の特色を一層発展させるとともに、各大学の教育・研究の充実・発展に寄与する。また大学が持つ多様な知的資源を有効に活用し、県・自治体及び産業界のみならず、広く県民と連携し、地域の活性化につなげ、魅力ある栃木県づくりに貢献する。

● 高大連携：鹿沼高等学校 R4 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会	1 年生保護者	「心の回復力について～逆境は成長の機会～」
② 講演会	1～3 年生全員	主権者教育について

● 高大連携：小山城南高等学校 R4 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会	1 年生全員	「あなたはこのまちでどう生きてゆく？」 ～都市の未来のデザインと地域経営～
② 講演会		「異文化理解とその重要性の認識」
③ 講演会		「人と心」について

● 高大連携：小山西高等学校 R4 年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① 講演会		「スポーツと健康」
② 講演会		「幼児教育・保育コースの授業と実習紹介」
③ 講演会		「進路講演会」

3. 講座、共同事業

名称・目的	開講・募集	内容・開講数・受講者数など	
白鷗大学市民開放講座 ・大学の正規授業を広く一般市民に開放。 ・市民に専門的な学習機会を提供する。 ・大学のスクールバスや図書館等の施設利用可。	前期・後期で受講生を募集 ＊結城市は平成 28 年後期から開放開始 共催：小山市教育委員会（生涯学習課） 結城市教育委員会（生涯学習課） 申込：小山市教育委員会 結城市教育委員会 対象：市内在住・勤務通学者	<R4 年前期> 67 科目開放 【小山市】21 科目：のべ 39 名 【結城市】3 科目：のべ 3 名	<R4 年後期> 67 科目開放 【小山市】21 科目：のべ 41 名 【結城市】2 科目：のべ 2 名

白鷗大学公開講座 前期・後期で 受講生を募集	市民向けに専用講座を開講 1 講座 500 円から受講可能 ※一部 1000 円の講座有 申込： 白鷗大学(地域連携サポート センター) 対象： 一般市民・学生	<R4 前期・開講テーマ> 条文と判例で知る少年法 閉講 条文と判例で知る逮捕 8 名 条文と判例で知る証拠 4 名 条文と判例で知る安楽死 閉講 病気から健康状態への転換 「障害の理解の仕方①」 11 名 “スペクトラム”の視点の導入 「障害の理解の仕方②」 14 名 合理的配慮の教育的現場への 導入「障害の理解の仕方③」 11 名 特別支援教育と「特別支援保 育」「特別支援教育の推進と普 及①」 8 名 特別支援教育コーディネータ ーの仕事「特別支援教育の推 進と普及②」 閉講 資料から見た特別支援教育の 今後「特別支援教育の推進と 普及③」 閉講 就学前後の教育内容と教育 方法の違い「保幼小連携の今 後①」 19 名 幼児期の終わりまでに育って 欲しい姿「保幼小連携の今後 ②」 18 名 資料から見た就学期接続の今 後「保幼小連携の今後③」 12 名 エクセルの基礎の基礎その 1 12 名 エクセルの基礎の基礎その 2 8 名 南島素描：沖縄のシャーマニ ズム 8 名 文明の限界？：比較文明論超 入門 14 名 SDGs とは何か？ 10 名 刀剣女子の底力：聖地巡礼と 地域活性化 閉講 <R4 後期・開講テーマ> 財政政策と民主主義（国会にお ける予算審議） 6 名 財政政策の分析（予算の見方） 6 名 財政政策の課題（国の財政の仕 組みと今後の課題） 6 名 南島素描：石垣島の神行事 10 名 90 分 de 文化人類学 16 名 90 分 de 比較文化論 16 名 90 分 de SDGs 10 名 法律を知ろう～刑法篇 6 名 法律を知ろう～刑事訴訟法篇 6 名 法律を知ろう～少年法篇 6 名 PC の活用基礎その 1 8 名 PC の活用基礎その 2 6 名 ★大学院公開講座 全 4 回 財務諸表分析 6 名 ノーベル経済学賞から学ぶ経 済学 9 名 現代情報社会の諸相～コロナ 禍から見えてきたこと～ 閉講 ID-POS データの分析 閉講
おやま・まちづくり 出前講座	講師等の派遣 主催：小山市教育委員会 (生涯学習課) 対象：小山市内在住等の 10 人以上団体 会場：市内の公共施設・自治会 の公民館・企業・個人宅	<R4 実績> 4 講座開設 125 名 出前講座メニュー（10 講座） 中学生、高校生のための国際理解講座 中学生、高校生のための英語上達法 やさしく学ぶ経済学 現在の経営学 身近な法律を考える 世界の文化を学ぶ 芸術の世界 スポーツ健康の楽しみ 125 名 これからの社会の行くえ まちづくりとボランティア

4. 教員免許状関係

(1) 栃木県教育委員会免許法認定講習（栃木県教育委員会事務局 教職員課総務担当）

<目的等>

- ・ 栃木県教育委員会が開設する免許法認定講習
- ・ 免許法認定講習とは、免許法及び免許法施行規則の規定に基づき開設する講習
- ・ 栃木県内の教育職員を対象に、上級免許状や他校種免許状の取得に必要な単位の習得の機会を提供し、教育に携わる職員の資質の向上を図る。

● 本学／教員派遣、会場貸出

* 本学以外に宇都宮大学でも実施。本学会場実施は平成 17 年度以降（毎年 8 月に実施）。

【白鷗大学会場の状況】

- ①平成 24 年度 8 月 6 日（月）・ 7 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ②平成 25 年度 8 月 6 日（火）・ 7 日（水）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋本学非常勤講師 1 名）
- ③平成 26 年度 8 月 6 日（水）・ 7 日（木）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ④平成 27 年度 8 月 10 日（月）・ 11 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ⑤平成 28 年度 8 月 8 日（月）・ 9 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑥平成 29 年度 8 月 7 日（月）・ 8 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑦平成 30 年度 8 月 6 日（月）・ 7 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑧令和元年度 8 月 5 日（月）・ 6 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑨令和 3 年度 8 月 18 日（水）・ 19 日（木）・ 24 日（火）・ 25 日（水）：2 科目（本学講師 専任 2 名）
- ⑩令和 4 年度 8 月 9 日（火）・ 10 日（水）：2 科目（本学講師 専任 2 名）

※令和 2 年度の「免許法認定講習」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

※令和 3 年度はオンラインによる講習となった。

(2) 白鷗大学／教員免許状更新講習

教員免許状更新講習実施状況

実施年度	講習数計	必修	選択必修	選択	延べ受講者数	定 員	備 考
平成 21 年度	14 講習	1	—	13	549 人	1,170 人	更新講習開始
平成 22 年度	14 講習	1	—	13	693 人	600 人	
平成 23 年度	18 講習	1	—	17	1,419 人	940 人	
平成 24 年度	21 講習	1	—	20	1,072 人	980 人	
平成 25 年度	23 講習	1	—	22	1,061 人	1,048 人	
平成 26 年度	27 講習	1	—	26	1,200 人	1,286 人	
平成 27 年度	26 講習	1	—	25	1,252 人	1,244 人	
平成 28 年度	28 講習	1	2	25	1,500 人	1,574 人	
平成 29 年度	24 講習	1	2	21	1,285 人	1,461 人	
平成 30 年度	39 講習	2	3	34	2,249 人	2,284 人	
令和元年度	38 講習	2	3	33	1,676 人	2,264 人	
令和 3 年度	16 講習	2	5	9	1,046 人	2,170 人	

※令和 2 年度の「教員免許状更新講習」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

※令和 3 年度はオンデマンド型によるオンライン講習となった。

※令和 4 年 7 月 1 日に教員免許更新制は発展的に解消された。

5.その他

(1) 講師派遣件数

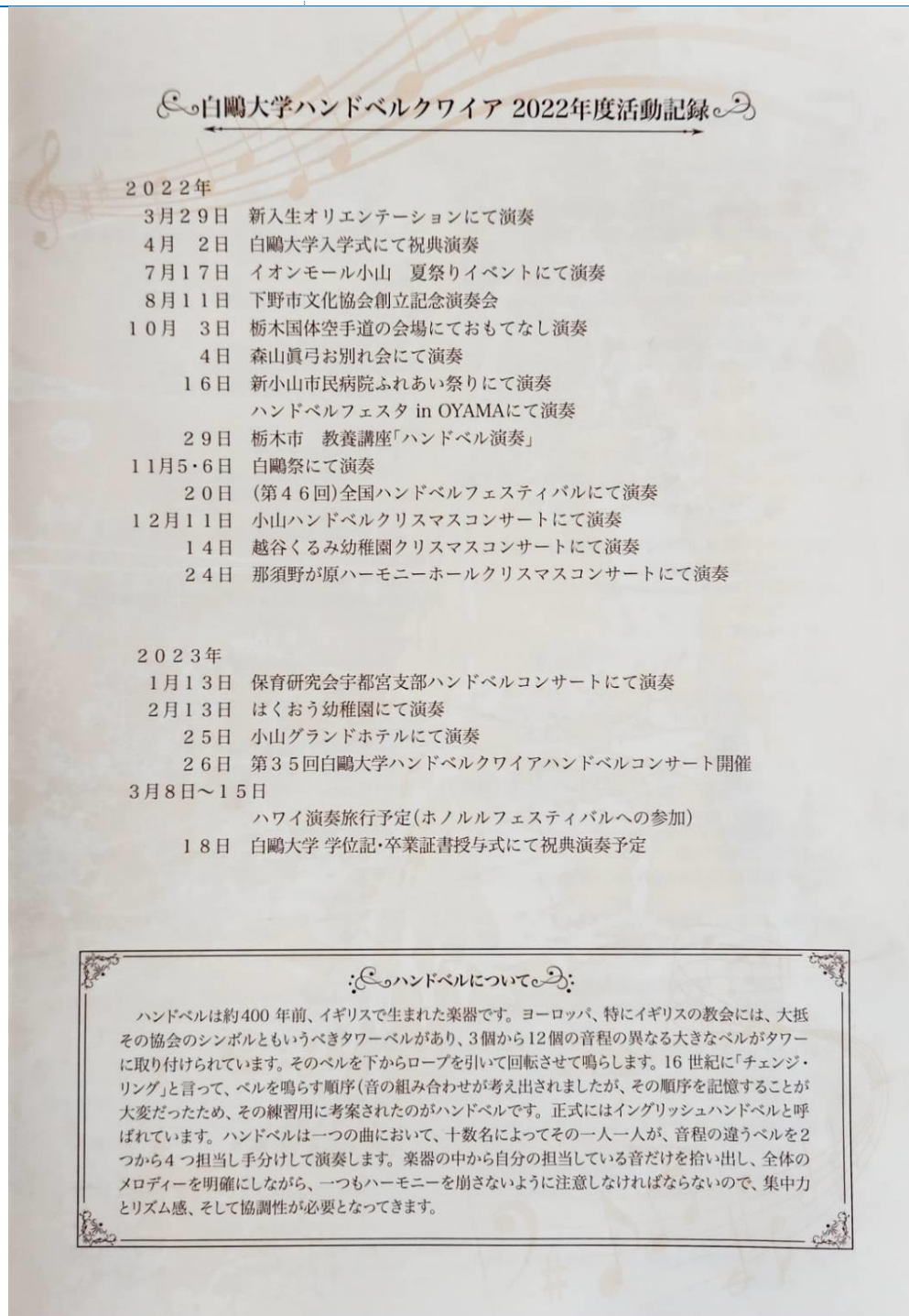
派遣年度		R4
計		40
栃木県		19
東京都		7
神奈川県・京都府・静岡県・宮城県		2×4=8
愛知県・秋田県・佐賀県・島根県・北海道・長野県		1×6=6

※栃木県内の派遣先

栃木県教育委員会	3	栃木県バスケットボール協会	2
一般財団法人 日本私学教育研究所	1	栃木県真岡市小中学校長会	1
足利市教育委員会事務局教育研究所	1	栃木県小学校教育研究会	1
下野市教育委員会	1	足利市議会	1
那須町立那須高原小学校	1	矢板市教育委員会	1
栃木県体操協会	1	栃木県高等学校体育連盟 栃木県高体連ダンス専門部 (栃木県立佐野東高等学校)	1
那珂川町教育委員会	1	栃木県立図書館	1
栃木県立宇都宮女子高等学校	1	塩谷南那須地区教育委員会連合会	1

(2) 部活動の取組み

硬式野球部	関甲新学生野球連盟主催「とちぎ野球フェスタ」にて野球教室の活動を行った。
ダンス部	地域の子供たちに発達段階にあわせた創作ダンスを指導している。チアペコ(幼稚園)、ブチペコ(小学 1,2 年)と年齢別チーム編成。1 年間の練習成果を 12 月ダンス発表会で披露。
ハンドベル部	下記参照



(3) ボランティア活動

小山駅東口新駅前広場 美化愛護会	本学の学生会が駅東・駅東通り2丁目の両自治会と協定を結び美化組織を発足。
---------------------	--------------------------------------